

東京国立博物館ニュース

展示と催し物案内 [第715号]

2012
10-11

2・3 特別展「中国王朝の至宝」／特別展「出雲―聖地の至宝―」

4 「予告」特別展「飛驒の円空―千光寺とその周辺の足跡―」／「予告」特別展「書聖 王羲之」

5 2013年1月2日 東洋館リニューアルオープン！

6・11 総合文化展 見どころ案内 2012年10月・11月 日本美術の流れ／上野の山文化ゾーンフェスティバル20周年記念事業

秋の庭園開放 特集陳列 平成23年度新収品／柳瀬莊アート・教育プロジェクト 特集陳列「館蔵仏像名品選」 特集陳列「根付 高田宮コレクション」

特集陳列「根付 郷コレクション」ほか 12・13 みどりのライオン 教育普及事業「講演会／ワークショップ／こどもたちのアートスタジオほか」

14 INFORMATION 15 TOPICS 16 東京国立博物館2012年10月・11月の展示・催し物



中国王朝の至宝

平成館

特別展

中国の顔は、ひとつではありません。
さまざまな土地に根付く、さまざまな文化。
いざ、対決の時！

数千 千年の歴史と広大な領域を背景とする中国文化は、時代や地域の違いによって、実に多様なものがあります。今回は、中国の各時代を代表する十四の王朝の文物を厳選し、それらを間近に対比することで、中国文化の特質をより鮮明にしてみたいと思います。こうした、いわば文物どうしの「対決」を、今号と次号の二回にわたって紹介してみよう。

特別展

「中国 王朝の至宝」

2012年10月10日(水)～12月24日(月・休)

平成館

主催:東京国立博物館、中国文物交流中心、NHK、NHKプロモーション、毎日新聞社、朝日新聞社

後援:外務省、中国国家文物局、中国大使館

協賛:信越化学工業、大日本印刷、三井住友海上

協力:全日本空輸、東京中国文化センター

観覧料金:一般1,500円(1,300円/1,200円)、

大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生700円

(500円/400円)

* ()内は前売り/20名以上の団体料金。中学生以下無料

* 前売券の販売(東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ))は10月9日(火)まで

* 障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

* 本展の観覧券で観覧日当日1回に限り、特別展「出雲―聖地の至宝―」もご覧いただけます

展覧会ホームページ <http://www.china-ochu.jp/>



ひとがたき
人形器 (一級文物)
殷～周時代・前12～前10世紀 四川省成都市金沙遺跡出土 成都金沙遺跡博物館蔵
古代の蜀にしか見られない、不思議な姿をした青銅器。何かの神を表現したのだろうか

対決パート① 夏・殷×蜀



黄 河 中流域の中原を拠点とした中国最初の王朝である夏や殷は、精緻な造形をもつ青銅器や玉器を作り、甲骨文字を駆使するなど、中国文化の礎を築きました。ほぼ同じ頃、長江上流域の四川盆地では、独特の姿をした神や動物を崇め、金を多用した高度な文化をもつ古代蜀の王国が栄えていました。中原と四川という二つの地域の特徴ある文物の「対決」によって、初期王朝期の多彩な文化の実像を眺めてみます。

卜甲

殷時代・前13～前11世紀 河南省安陽市花園村出土 中国社会科学院考古研究所蔵
加熱してできたひび割れにより、吉凶などを占った。漢字の元となった甲骨文字に注目



対決パート② 齊・魯×楚



殷の次に中原を支配した周の勢力が衰えると、諸侯が並び立つ春秋戦国の時代になりました。黄河の下流域では、周の流れをくむ齊や魯が栄え、諸子百家といわれるような多彩な思想・文化が開花しました。一方、長江の中流域では、黄河流域の諸国とは風俗言語を異にした楚の国が隆盛を誇り、独自の文化を展開しました。中原の伝統に連なる齊・魯と、南方の雄であった楚の文物の「対決」によって、古代中国文化の諸相を照らし出します。(松本伸之)

鎮墓獸

戦国時代・前4世紀 湖北省荊州市天星観1号墓出土 荊州博物館蔵
鹿の角と長い舌を持つ独特の姿の靈獸。墓の守り神として、楚の地域で盛んに作られた

猿形帶鉤

戦国時代・前5～前4世紀 山東省曲阜市魯国故城遺跡3号墓出土 曲阜孔子博物院蔵
猿に似た靈獸を象ったバックルで、精巧な作りで目を見張る。発見地の魯は孔子の故郷

出雲

—聖地の至宝—

10月10日(水)～11月25日(日)
本館特別5・4室

神話の国、
出雲の至宝
まもなくトーハクへ！

聖地、出雲を体感する本展覧会のおすすめの作品を
担当研究員がご紹介します。

巨大な宇豆柱 東京で初公開

平成十二年(二〇〇〇)に、出雲大社の本殿と拝殿の間で
おこなわれた発掘調査によって発見された宇豆柱が、東京
ではじめて公開されます。

宇豆柱は、大社造の本殿の九本の柱のうちの、正面中央
の柱にあたるものです。この柱は直径が一〇〜一三五セ
ンチの杉の大材三本を束ねて一つの柱としていました。三
本の材を束ねて一つの柱としている様子は、出雲大社宮司
千家国造家に伝わった「金輪御造営差図」の表現そっくり
で、この図のような本殿の存在が明らかとなって、一躍注
目されるようになりました。この柱は、年代測定や古記録
によって鎌倉時代の宝治二年(一二四八)の本殿のものであ
る可能性が高いと考えられています。

圧倒的な太さの柱が支えていた当時の
本殿は、どのようなものだったのでしょうか。高さが四八メートルだったという伝承
に基づく平安時代の神殿の十分の一推定
復元模型も一緒にご覧いただきながら、
高くそびえて
いた本殿に思
いをはせてい
ただきたいと
思います。

1 金輪御造営差図

島根・千家家蔵(展示期間 10月
10日(水)～11月4日(日))
千家家で秘蔵されていた古図
で今年4月初公開されました

2 ◎宇豆柱

鎌倉時代・宝治2年(1248)
出雲大社境内遺跡出土
島根・出雲大社蔵
柱のまわりには大きな石が
ぎっしりとつめられていました

高くそびえて
いた本殿に思
いをはせてい
ただきたいと
思います。

(池田宏)

関連事業

AR巨大神殿体感アプリ 無料で配信開始！

スマートフォン・タブレット端末(一部対応していない
機種があります)で、トーハク構内にそびえ立つ約
48mの巨大神殿を体感できるアプリの配信がはじまりました。期間中、トーハクでアプリを立ち上げると
巨大神殿が正門から本館に向かってそびえたちます。
またその場の風景と神殿を合わせて撮影することも
できます。展覧会をご覧いただいたあとはARの巨大
神殿をお楽しみください。このAR巨大神殿のフォト
コンテストも実施。
応募期間や各賞等
の詳細については
「AR神話博」のホー
ムページ [http://
www.shimane-
iit.jp/ict/ar/](http://www.shimane-iit.jp/ict/ar/) をご
覧ください。

*東京国立博物館
内でのAR実施期
間:9月15日(土)～
11月25日(日)



特別展「出雲—聖地の至宝—」 2012年10月10日(水)～11月25日(日) 本館特別5・4室

主催:東京国立博物館、島根県、島根県立古代出雲歴
史博物館、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社
後援:文化庁
特別協力:出雲大社、島根県神社庁

観覧料金:一般800円(700円)、大学生600円(500円)、
高校生400円(300円)

* ()内は前売り、20名以上の団体料金。中学生以下
無料

*前売券の販売(東京国立博物館正門チケット売場〈窓
口、開館日のみ〉)は10月8日(月・祝)まで

*特別展「中国 王朝の至宝」(10月10日(水)～12月24
日(月・休))の観覧券で観覧日当日1回に限り本展覧会をご
覧いただけます。

*障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障が
い者手帳などをご提示ください。

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

展覧会ホームページ <http://izumo2012.jp>

展覧会目玉の
作品はこちら。

大地に埋められた大量の青銅器

およそ三十年前、静かな町が大量の青銅
器の発見に沸きました。銅剣三百五十八本、
銅鐸六個、銅矛十六本。これほどまでの青
銅器がまとまって発見された例は皆無です。
荒神谷遺跡の名は全国に広まるとともに、青
銅器大量埋納の謎は深まり、「出雲王権」の
存在も声高に叫ばれました。その十二年後、
今度は隣町の加茂岩倉遺跡から銅鐸三十九
個が発見。再び青銅器フィーバーに！ なぜ、
これほどの大量の青銅器が出雲を中心とし
たこの地域に埋納されたのか。その理由は未
だはっきりしていません。しかし、そ
こには青銅器に託された当時の人びと
の様々な祈りがあつたに違いありません。
すべてが国宝となったこれらの青
銅器が今回、大量に展示されます。妖
しい顔を持つ伝出雲
出土銅鐸とともに、
出雲の青銅器をとく
とご覧あれ！ そし
て、出雲の青銅器大
量埋納の謎解きにも
是非、挑戦してみて
ください。(井上洋一)

3 ◎加茂岩倉遺跡出土の銅鐸
弥生時代:前2～前1世紀 文化庁蔵
大小の銅鐸が入れ子状態になって発見

4 ◎荒神谷遺跡出土の青銅器
弥生時代:前2～前1世紀 文化庁蔵
青銅器の一括埋納量、全国トップ！



飛驒の

Enku's Buddhas:
Sculptures from
Senkoji Temple
and the
Hida Region

円空

千光寺と
その周辺の
足跡

2013年1月12日(土)―4月7日(日)
本館特別5室

飛驒に伝わる円空仏から木・森・文化、
そして円空その人に迫る！

円空は江戸時代前期、十七世紀後半に北海道から近畿

までを巡ったく
さんの彫像をの
こした人です。こ

の展覧会には飛驒・千光

寺をはじめ、岐阜県高山市に伝

来した代表的な円空仏が百体集ま
ります。いずれも個性的な像ですが、

特に注目すべき作品を紹介しましょう。①千光寺の両面宿禰坐像『日本書紀』に登場する飛驒の怪物。顔が二つ、手は四本、刀と斧を持つ姿です。②千光寺の金剛力士(仁王)立像。咩形・地面に根を張って生えている木に梯子をかけて彫った像。今は根は切られています。③千光寺の秘仏・歓喜天立像・普段は拝めない姿を特別公開します。④清峰寺の千手観音菩薩立像。円空にはめずらしく、脇の手は別の木を貼りつけています。これらの像は滅多に展覧会に出品されません。ぜひご覧ください。(浅見龍介)



千手観音菩薩立像

円空作 江戸時代・17世紀
岐阜・清峰寺蔵

目は凛々しく、口は笑みを含む表情が魅力です

両面宿禰坐像

円空作 江戸時代・17世紀
岐阜・千光寺蔵

千光寺に滞在した円空が、依頼されて造ったのかも知れません。入念の作です



特別展「飛驒の円空

―千光寺とその周辺の足跡―

2013年1月12日(土)～4月7日(日)
本館特別5室

主催:東京国立博物館、千光寺、読売新聞社、
NHK、NHKプロモーション
特別協力:高山市、高山市教育委員会

観覧料金:一般900円(800円)、大学生700円(600円)、
高校生400円(300円)

* ()内は前売り、20名以上の団体料金。中学生以下無料
* 前売券の販売は10月1日(月)から1月11日(金)まで、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)のほか、チケットぴあ(Pコード765-365)、ローソンチケット(Lコード31632)、イープラスなど主要プレイガイドで販売。
* 障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

展覧会ホームページ <http://enku2013.jp/>

書聖 王羲之

2013年1月22日(火)―3月3日(日)
平成館

蘭亭伝説の広がりと
書聖の実像に迫る

中国四世紀の東晋時代に活躍した王羲之(三〇三―三六六、異説あり)は、従来の書法を飛躍的に高めました。王羲之の書は歴代の皇帝に愛好され、やがて王羲之の信仰とでもいうべき状況を形成します。王羲之の神格化に拍車をかけたのは、唐の太宗皇帝でした。太宗は苦心惨憺の末、王羲之の最高傑作である蘭亭序を手に入れますが、崩御に際し昭陵に陪葬させてしまいます。その他の王羲之の書も戦乱などで失われ、残念なことに王羲之の真跡は一つも現存しません。

しかし王羲之の信仰の歴史は長く、多くのの人々にさまざまな影響を与えました。王羲之の神話が崩壊するのは、十九世紀を迎えてからのことです。この展覧会は、内外に収蔵される王羲之の名品や関連資料を通して、王羲之が歴史的に果たした役割を再検証しようとするものです。

(富田淳)



蘭亭流觴図巻

明時代・万暦30年(1602)

東京国立博物館蔵 高島菊次郎氏寄贈

この画像の後ろには、王羲之が名士を招いて開いた曲水の宴の情景が続きます。

特別展

「書聖 王羲之」

2013年1月22日(火)～
3月3日(日)

平成館

主催:東京国立博物館、
毎日新聞社、NHK、
NHKプロモーション
後援:外務省
特別協力:朝日新聞社

観覧料金:一般1,500円(1,300
円 / 1,200円)、大学生1,200
円(1,000円 / 900円)、高校
生900円(700円 / 600円)

* ()内は前売り / 20名以上の
団体料金。中学生以下無料
* 障がい者とその介護者1名は
無料です。入館の際に障がい者
手帳などをご提示ください。

お問合せ:ハローダイヤル
03-5777-8600

楮模蘭亭序

原跡:東晋時代・永和9年(353)
東京国立博物館蔵
高島菊次郎氏寄贈

巻後には、明末清初の王鐸が臨
書をしています。緊張のため
かやや固い表情。王鐸の臨書も
展示します。



関連事業

記念講演会

特別展「書聖 王羲之」

①2月2日(土)13:30～15:00

「書聖 王羲之～書聖の実像と蘭亭文
化の広がり～」

講師:富田淳(列品管理課長)

②2月10日(日)13:30～15:00

「書聖 王羲之が日本に与えた影響」
講師:名児耶明(五島美術館理事・学
芸部長)

会場:平成館大講堂

定員:380名(事前申込制、応募者多
数の場合抽選)

聴講無料(ただし、本展覧会の観覧

券が必要。半券でも可、その場合は
別途、入館料が必要)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」
に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・
電話番号・希望する講演会番号(①ま
たは②を)、「返信用表面」に郵便番
号・住所・氏名を明記の上、下記まで
お申込ください。

* 1枚のはがきで、1つの講演会につき、
最大2名の申込可。2名の場合は、それ
ぞれの氏名を必ず明記してください。
申込先:〒106-0032 東京都港区
六本木4-8-7 六本木三河台ビル7階
「王羲之」広報事務局(希望する講演
会番号①または②)係
申込締切:①・②ともに12月18日(火)

2013年1月2日

東洋館

東京国立博物館

140年の歴史を経て築か

れてきた、アジア各地のパラエ

ティに富んだコレクションには、国の内

外の様々な個人・機関からのご寄贈品が多数

含まれています。そのうち、東洋館開館の際に

ご覧いただける名品6件をご紹介します。(白井克也)

◎如来三尊龕

唐時代・長安4年(704)
中国陝西省西安宝慶寺 細川護立氏寄贈

唐時代の女帝則天武后が造営した寺にあったものです。細川元首相の祖父細川護立氏が昭和3年(1928)に19基入手しました。そのうち15基を当館が所蔵しており、東洋館で全点常設展示します。豊満な体と菩薩像の腰を捻った姿にインドの影響が見られます。[展示期間:2013年1月2日～3月31日 東洋館1室-中国の仏像にて展示予定] (浅見龍介)



パシェリエンプタハのミイラ

エジプト、テーベ出土
第22王朝時代・前10～前8世紀
エジプト考古庁寄贈

100年余り前に、当館の前身、帝室博物館へ寄贈されました。カルトナージュ容器に入っていたのを、二つに切り分けて展示しています。表面の真っ黒な物質の下に、極彩色の絵と銘文が書かれています。死者の名前は、アंकムウトの息子、パシェリエンプタハです。[展示期間:2013年1月2日～3月3日 東洋館3室-西アジア・エジプトの美術にて展示予定] (後藤健)



この中に王様か？

ナーガ上のガルダ

アンコール時代・12～13世紀
カンボジア・バプーオン入口と象のテラス
フランス極東学院交換品

昭和19年(1945)、当時インドシナ半島の一部を統治していたフランスと美術品の交換を行いました。この像はその時カンボジアからもたらされたものです。アンコール・ワットをはじめ、カンボジアにはこの種の石彫像が大量に見られます。[展示期間:2013年1月2日～6月30日東洋館11室-クメールの彫刻にて展示予定] (浅見龍介)



菩薩立像

北齊時代・天保3年(552) 中国・山西省長子県付近
根津嘉一郎氏寄贈

根津美術館の創立者根津嘉一郎氏の寄贈品。寄贈は現在の本館が開館する昭和13年(1938)11月10日の直前でした。昭和31年から東洋館開館(昭和43年)まで本館の前庭に展示されていました。台座、光背を合わせた高さは3mを超えます。[展示期間:2013年1月2日～3月31日 東洋館1室-中国の仏像にて展示予定] (浅見龍介)



銅鼓

中国南部またはタイ北部出土
14～19世紀 タイ国ダムロン親王寄贈

青銅でできた円筒形の太鼓。鼓面の縁辺にある4匹のカエルをかたどった飾りが目を引きまします。タイ国王ラーマ4世の子で、タイの近代化を牽引したダムロン親王(1862～1943)により明治34年(1901)に寄贈されました。[展示期間:2013年1月2日～3月31日 東洋館12室-インド・東南アジアの考古にて展示予定] (川村佳男)



実物はみな迫力満点よ！



ワヤン・クリ クレスノ

インドネシア・中部ジャワ
20世紀 ダナルト氏寄贈

インドネシアの伝統的な影絵人形。水牛の革に精細な透彫りを施し、鮮やかに彩色しています。インドネシアの現代作家ダナルト氏が、昭和45年(1970)に大阪万博のため来日された際、当館に寄贈されました。[展示期間:2013年1月2日～4月7日 東洋館13室-アジアの民族文化にて展示予定] (白井克也)



10/16 火 - 1/14 月・祝

●銀銅蛙巻太刀

平安時代・12世紀
和歌山・丹生都比売神社蔵
蛙巻とは金属の薄い板で柄や鞘を螺旋状に巻くことをいいます

10/14 日

◎色々糸威腹巻

室町時代・15世紀
茶色の糸を主体にして紅白の糸も用いた大変華やかな甲冑です

本館 ⑤ 室
武士の装い
— 平安～江戸

4

茶の美術

日本の伝統文化である茶の湯のなかで育まれた美術を紹介します。



11/27 火

2/24 日

○大井戸茶碗 有楽井戸

朝鮮時代・16世紀
松永安左工門氏寄贈
有楽の銘はかつて茶人織田有楽斎が所持していたことにちなみます

11/25 日

彫三島茶碗 銘 木村

朝鮮時代・16～17世紀
広田松繁氏寄贈
古美術商として一家をなした広田不孤斎が愛蔵した茶碗です



本館 ④ 室
茶の美術

11/20 火 - 12/24 月・休

◎蘭意同芳図

玉晩梵芳筆 南北朝時代・14世紀
蘭葉の線がつくる、ゆったりとした曲線美を感じてください



10/10 水 - 11/18 日

南院師忌拈香偈

清拙正澄筆 南北朝時代・延元2年(1337)
鎌倉末に來日した中国の禅僧の墨跡。特徴的な書風です

10/8 月・祝

◎破墨山水図

雪舟等楊筆
雪舟自序・月翁周鏡等六僧賛
室町時代・明応4年(1495)
晩年に弟子への餞別として描いた絵です。自伝的な文章も記されています

3 - 3

禅と水墨画

— 鎌倉～室町

禅宗の本格的導入にともない成立した水墨画と墨跡をご覧ください。

3 - 2

宮廷の美術

— 平安～室町

宮廷貴族社会を中心に育まれたやまと絵や書、調度品の世界。

11/20 火

12/24 月・休

◎後三年合戦絵巻 巻上

飛騨守惟久筆 南北朝時代・貞和3年(1347)
源義朝の奥州での活躍を描く合戦絵巻の優品です

10/10 水

11/18 日

◎寛平御時后宮歌合(十巻本歌合)

伝宗尊親王筆 平安時代・11世紀
平安時代最盛期の優美な仮名です

本館 ③-③ 室
禅と水墨画
— 鎌倉～室町

本館 ③-② 室
宮廷の美術
— 平安～室町

本館 ③-① 室
仏教の美術
— 平安～室町

2

国宝室

絵画・書跡の名品をゆったりとした空間で心静かに鑑賞していただくための展示室です。

10/28 日

◎法華経(開結共) 巻第一

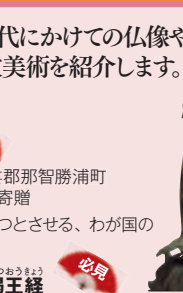
平安時代・12世紀
東京・浅草寺蔵
「法華経」8巻と開經の「無量寿経」、結經の「觀音賢經」の2巻を合わせて10巻全てがそろった貴重な例。料紙の美しさにも注目



10/30 火 - 11/25 日

◎観楓図屏風

狩野秀頼筆
室町～安土桃山時代・16世紀
紅葉の名所として名高い京都洛北高雄、清滝川のほとりで輪になった男性の一群は、拍子とりながら舞を舞い、酒宴に興じています



文陀竭王経

奈良時代・天平12年(740)
五欲は厭きることがないと説く。10数巻のみが現存するという「元興経」の一つです

日本美術のあけぼの

— 縄文・弥生・古墳

日本美術の原点として縄文から古墳時代の代表作品を紹介します。

11/4 日

縄文土器や土偶、銅鐸や埴輪などから各時代の造形美の変遷を追います。

内行花文鏡

古墳時代・4世紀
静岡県磐田市松林山古墳出土
円と弧を巧みに組み合わせた幾何学文が精緻な美を作り出しています



11/6 火

5/6 月・休

縄文土面

縄文時代(晩期)・前1000～前400年
埼玉県羽生市発掘出土
目や口の周りや頬や顎を隈取のように赤く塗った妖しい土面



1 - 2

仏教の興隆

— 飛鳥・奈良

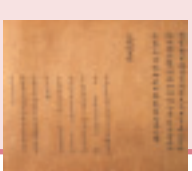
飛鳥時代から奈良時代にかけての仏像や経典など、古代の仏教美術を紹介します。

10/8 月・祝

飛鳥時代の十一面観音立像や、奈良時代の装飾料紙をご紹介します。

色紙金光明

最勝王経巻第六断簡
奈良時代・8世紀 個人蔵
紫と藍の料紙を用いた数少ない奈良時代の色紙経としてきわめて貴重な遺品です



10/10 水 - 11/18 日

十一面観音菩薩立像

飛鳥時代・7世紀 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山出土 北又留四郎氏他2名寄贈
焼失した法隆寺金堂壁画をほうふつとさせる、わが国の十一面観音像の最古例です



3 - 1

仏教の美術

— 平安～室町

絵画、彫刻、書跡など、日本仏教美術の多様で多彩な世界をご覧ください。

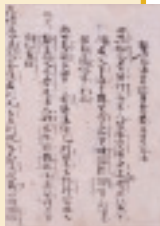
10/8 月・祝

◎地藏菩薩立像

平安時代・12世紀 京都・淨瑠璃寺蔵
王朝貴族好みのおだやかな顔と袈裟の美麗な彩色が見どころです

◎四天王寺縁起残巻

惟宗季重筆 平安時代
承安3年(1173) 京都・三千院蔵
『四天王寺縁起』および『十七条憲法』の写本です



10/8 月・祝

◎法華経 方便品(竹生鳥経)

平安時代・11世紀
優美な花鳥下絵が施された料紙と和様の穏やかな書の見どころです



10/10 水 - 11/18 日

法隆寺宝物館の国宝聖徳太子絵伝の展示(10月30日～11月25日)に合わせ、聖徳太子関連作品等を展示します。

聖徳太子立像(孝養太子)

鎌倉時代・13～14世紀
愛知・本證寺蔵
右手に杓、左手に柄香炉を持つ、真宗寺院で信仰された太子像です



聖徳太子絵伝

南北朝時代・14世紀
川合玉堂氏寄贈
丁寧で穏やかな品格ある画面が見どころです



7

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

大画面の作品から生み出される空間の広がりを感じとってください。

10/14 日 秋の深まりを感じさせる作品を展示します。

◎秋草図屏風

依屋宗雪筆

江戸時代・17世紀

金地の野辺に萩や薄、女郎花、芙蓉など秋の草花が咲き乱れる



必見

10/16 火 11/25 日

応挙館障壁画の「芦雁図襖」など秋にちなんだ作品を展示します。



◎芦雁図襖

円山応挙筆

江戸時代・天明4年(1784)

雁たちが群れ遊ぶ空間

必見

8-1

暮らしの調度 — 安土桃山・江戸

安土桃山から江戸時代に人々の身の回りを飾った調度や器を展示します。

9/25 火 12/24 月・休

季節に合わせ、菊や楓など秋に因んだ意匠の品々を中心にご覧いただけます。



◎七宝菊文引手

江戸時代・18世紀

菊の露がしたたり落ちた川の水を飲むと長生きするという故事から、菊水の文様は長寿の象徴

必見



◎色絵紅葉賀図茶碗

仁清 江戸時代・17世紀

山本富子氏・山本賢二氏寄贈

源氏物語「紅葉賀」帖を表現した図柄は、いかにも仁清らしい王朝趣味です

必見

◎菊桐紋蒔絵角手箱

江戸時代・17世紀

石川・菅生石部神社蔵

2代將軍徳川秀忠の次女で加賀藩主前田利常へ嫁いだ珠姫が、元和5年(1619)に寄進した手箱

必見

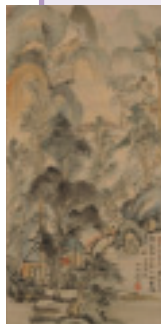
8-2

書画の展開 — 安土桃山・江戸

さまざまな表現で広がる豊かな視覚文化の時代を体感してください。

10/14 日

秋の風情を感じさせる絵画を展示します。



◎山中結廬図

浦上玉堂筆 江戸時代・寛政4年(1792)

日本の南画を代表する絵師、玉堂の48歳に描いた色鮮やかな山水画

必見

◎一行書

池大雅筆

江戸時代・18世紀

植松嘉代子氏寄贈

書の世界でも一家をなした大雅作品を多数展示

必見

10/16 火 11/25 日

秋をテーマとした山水図、花鳥図、草花図や書の内容を中心に展示します。

◎紅葉に菊流水図

尾形乾山筆

江戸時代・18世紀

山本富子氏・山本賢二氏寄贈

銀の波紋の流水を背にすることで、色鮮やかな紅葉と菊花の華やかさが増しています

必見



9

能と歌舞伎

室町時代～江戸時代に用いられた能面・能装束・歌舞伎衣装などを紹介します。

10/21 日

米沢藩上杉家伝来の名品を展示し、豪華絢爛な大名家の能文化を紹介します。

10/23 火 12/24 月・休

三輪明神の神婚説話をもとにした謡曲「三輪」に合わせて面・装束を展示します。



必見

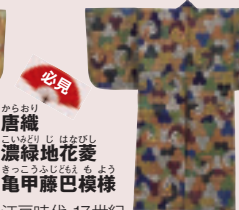
唐織

紅茶段麻の葉蓑

色紙短冊模様

江戸時代・18世紀

王朝文化をイメージする典雅な色紙短冊模様はまさに髪能を象徴する唐織



必見

唐織

濃緑地花菱

亀甲藤巴模様

江戸時代・17世紀

江戸時代初期の古式なデザインをのこす唐織は落ち着いた色調が特色

【衣装】小袖や髪飾り、印籠や根付など江戸時代のファッションに関する展示です。

10/21 日

日本人独特の美意識である秋草模様を中心にしたキモノの展示。

10/23 火 12/24 月・休

晩秋にふさわしい紅葉模様や、名所を表した風景模様の小袖などを展示します。



必見

小袖

染分輪子地

鶯草花模様

江戸時代・18世紀

個人蔵

江戸時代中期に町方の女性に大流行した光琳模様



必見

振袖

白紬地楓竹

矢来文字模様

江戸時代・18世紀

江戸時代のデザインブック『当流模様』にも掲載される小袖模様

5

6

武士の装い — 平安～江戸

◎太刀 銘 助真

鎌倉時代・13世紀

い かけ し ぬい もん まき え らでんのうちがたな

沃懸地葵紋時紋螺鈿打刀

江戸時代・19世紀

紀州徳川家に伝来した太刀で、華やかな打刀の外装も付属しています

必見



平安時代から江戸時代までに用いられた刀剣や甲冑などの武具に加えて、武士の肖像画や書を展示します。

本館 7 室

屏風と襖絵

— 安土桃山・江戸

本館 6 室

武士の装い

— 平安～江戸

本館 2 階

[10月・11月]

必見ガイド

日本美

縄文から
ほんものでた

本館 8-1 室

暮らしの調度

— 安土桃山・江戸

本館 8-2 室

書画の展開

— 安土桃山・江戸

特別 2 室

企画展示

本館 9 室

能と歌舞伎

本館 10 室

浮世絵と衣装

— 江戸

10

浮世絵と衣装 — 江戸

【浮世絵】

江戸時代の美人や風景を描いた版画と肉筆の浮世絵を展示します。

10/2 火 10/28 日

和歌の名所六玉川を題材とした図や、18世紀後期の美人画、洋風風景画などを陳列。

◎玉川布晒し図

魚屋北溪筆

江戸時代・19世紀

北斎の弟子が描いた調布の玉川

必見



10/30 火 11/25 日

三代歌川豊国晩年の役者大首絵シリーズや北斎・春信・広重らの特徴的作品を陳列。



必見

三代目沢村宗十郎の

大星由良之助

歌川国貞(三代豊国)筆

江戸時代・文久3年

(1863)

田畑大蔵氏寄贈

三代豊国、78歳にして代表作

上野の山

文化ゾーン・ラフェスティバル

20周年記念事業

東京国立博物館・台東区立書道博物館連携企画

尚意競艶——宋時代の書——

10月2日(火)～11月25日(日)

平成館企画展示室

蔡襄生誕千年、連携10回目を記念する特別企画
国宝・重要文化財を含む北宋・南宋の肉筆を二挙公開！

宋時代の書の特質は「意」、すなわち人間の個性や精神性を「尚」ぶことにあります。北宋時代には、蔡襄・蘇軾・黃庭堅・米芾が、北宋の四大家と尊ばれました。蔡襄は前時代の伝統的な書を継承し、格調高い書風を伝えました。これに続く蘇軾と黃庭堅は、個々の人間性を高らかに謳い上げるような、自由で個性的な書風を創出。米芾は伝統的な書を標榜しつつ、躍動感あふれる響きの高い書をよくしました。南宋時代には、北宋の影響を受けながらも、朱熹や張即之らが、やがて独自の書風を開花させます。今回は、蔡襄の生誕千年と連携企画第10回を記念して、両館が所蔵する蔡襄の優品を特別公開。当時、その艶やかさを競い合った内外の名品を通して、宋時代の書の尽きせぬ魅力をご紹介します。ご期待ください。

同時開催

尚意競艶——宋時代の書——

10月2日(火)～11月25日(日)

台東区立書道博物館

主催「(公財)台東区芸術文化財団 助成・芸術文化振興基金」
*会期中、東京国立博物館で書道博物館の、書道博物館で東京国立博物館の観覧券の半券を提示いただければ、それぞれ団体割引料金で観覧できます(各種割引併用不可)



行書尺牘「急足帖」
呉瑯筆 南宋時代・12世紀 東京国立博物館蔵
高島菊次郎氏寄贈
南宋の呉瑯は、北宋の米芾に酷似していたため、米芾の書として伝来するほどでした

関連事業

講演会:「尚意競艶—宋時代の書—」

11月23日(金・祝) 13:30～15:00(13:00開場) 平成館大講堂
鍋島稲子(台東区立書道博物館主任研究員)、富田淳(当館列品管理課長)

列品解説:「宋時代の書」

10月23日(火) 14:00～14:30 平成館企画展示室
富田淳(当館列品管理課長)
*事前申込不要、聴講無料。ただし当日の入館料は必要です。

ワークショップ

台東区立書道博物館では10月23日(火)、11月4日(日)にギャラリートーク(事前申込制)、ワークショップ(開館時間中随時)を開催。詳細は同館ウェブサイト(<http://www.taitocity.net/taito/shodou/>)をご覧ください。お電話にてお問合せください(電話:03-3872-2645)。

上野の山の各施設で展覧会や講演会などのイベントを開催する秋の恒例「上野の山文化ゾーンフェスティバル」。20周年を迎えた今年は、特別なイベントが目白押しです。東京国立博物館では、特別夜間開館「上野の山のナイトミュージアム」を実施するほか、講演会を開催。上野の山で特別な文化の秋をお楽しみください！

★秋の夜長は博物館で★

★上野の山のナイトミュージアム

10月20日(土) 21時まで
特別夜間開館(入館は20時30分まで)

★上野の山文化ゾーンフェスティバル
20周年記念特別講演会

「美意識の東西—アクロポリスの丘から上野の山まで—」

11月21日(水) 16時～17時(15時30分開場)
高階秀爾(大原美術館館長、東京大学名誉教授)

会場:平成館大講堂 定員:380名
(事前申込制)

申込方法:往復はがきまたはインターネット。詳細は、台東区のホームページの「文化・観光情報」(http://www.city.taito.lg.jp/index/bunka_kanko/index.html)をご覧ください。
事務局(台東区文化振興課内)へお問合せください。
(電話)03-5246-1153(平日8時30分～17時)

★上野の山文化ゾーンフェスティバル
講演会シリーズ

「上野の山を彩る歴史的建造物」

11月24日(土) 14時～15時30分(13時30分開場)

大和智(文化庁文化財鑑査官)
会場:平成館大講堂 定員:380名(先着順)
聴講料:無料(ただし、当日の入館料は必要)

秋の庭園開放



○色絵桜楓文鉢
仁阿弥道八作
江戸時代・17世紀
個人蔵

▼秋の庭園開放の様子



10月27日(土)～12月9日(日)、本館北側の庭園が開放されます。楓や銀杏が鮮やかに色付く景色をお楽しみください。期間中には、国宝 観楓図屏風(狩野秀頼筆、室町・安土桃山時代・16世紀 10月30日～11月25日 本館2室)や、重美 色絵桜楓文鉢(仁阿弥道八作、江戸時代・19世紀 個人蔵 9月25日～12月24日 本館8室)、小袖 紅縮緬地幕紅葉模様(江戸時代・19世紀 10月23日～12月24日 本館10室)など、秋をテーマにした作品の数々を展示。博物館で、深まる秋を感じてみませんか？



小袖 紅縮緬地幕紅葉模様 江戸時代・19世紀

秋の庭園開放 10月27日(土)～12月9日(日) 10:00～16:00

庭園入口:①本館を正面に見て右側、レストランゆりの木脇 ②本館を正面に見て左側、平成館との間
料金:入園無料(ただし、入館料は必要) *お茶室の中に入ることはできません。また、お茶室貸出利用時はお茶室を間近でご覧いただけない場合がございます。*荒天時ならびにその翌日は庭園開放は中止となる場合があります。庭園開放中止の場合は、正門の掲示にてお知らせいたします。

特集陳列

平成23年度新収品

10月10日(水)～10月21日(日)
本館 特別1・2室

百五十一件の新収品から、
六十五件をお披露目

かけがえない文化財を適切な環境で
保管し、公開していくことは、博物館の
大切な役目です。当館では、国立博物館
として、日本のみならず、日本文化を多角
的に考えるうえで重要な東洋各地も含めた、
古代から近代に及ぶ、きわめて多岐にわたる質
の高い文化財を保有し、広く公開しています。

しかし、体系的な展示を行い、必要に応じて深めていくた
めには、現在の収蔵品だけでは決して充分とはいえません。
そのため当館では、収蔵品の一層の充実を目指して、毎年、
良質な文化財の収集を積極的に行っています。

平成23年度には、多くの方々のご好意により百五十一件の
文化財を御寄贈いただきました。いずれも日本や東洋の文化
を探索上で見過ごすことのできない意義を持つものなのです。

今回はこれらの中から六十五件を展示いたします。これら
の新収品を通じて、当館の事業の一端を御理解いただくこと
も、日本と東洋の文化のさまざまな側面を伝える多様な魅
力を持った品々を御鑑賞ください。

(田良島哲)



2

人気浮世絵師、 東洲斎写楽の細判作品

なかしま だえもん たんば やはちえもん
中島和田右衛門の丹波屋八右衛門

東洲斎写楽は、江戸時代・寛政6年(1794)5月から翌
年正月までのわずか10カ月の間に140数図の版画作品
を制作し、忽然と姿を消した謎の浮世絵師です。この作品
は寛政6年8月桐座上演の『四方錦故郷旅路』に取材し
た作品で、写楽の同図柄としては、世界に1点しか知られ
ていない貴重なものです。彩色も鮮やかに残っており、摺
りと保存状態も優れています。平成23年に当館で開催さ
れた特別展「写楽」で公開された後、所蔵者の御厚意によ
り寄贈されたものです。

伊万里金襴手の 豪華絢爛な意匠

いろ え おう か わ し ん お お ざ ら
色絵桜花鶯文大皿

伊万里では、元禄期(1688～1704)以降に、明の影響を受け
たと考えられる色絵が作られるようになります。金襴手は、染付
で文様の一部を描いた素地に、赤を基調とした色絵を施しさら
に金彩を焼き付けたもので、華やかで豪壮なものが多く見られ、
国内だけでなくヨーロッパ向けとしても好んで作られました。こ
の作品はそのなかでも特に豪華絢爛な意匠を示す大皿で、表に
は雉をとらえた大鶯と桜、菊唐草文の地に花鳥図を描いた扇面
などを染付と上絵具、金彩で描き、裏側には、牡丹、梅、菊の折
枝文を染付と赤絵具、金彩で描いています。



1

1 色絵桜花鶯文大皿

伊万里 江戸時代・18世紀 加瀬礼二氏寄贈

2 中島和田右衛門の丹波屋八右衛門

東洲斎写楽筆 江戸時代・寛政6年(1794)
内山晋氏寄贈

◆ 柳瀬荘 ◆

東武東上線志木駅から跡
見女子大行きバス15分、
「中野」下車徒歩5分。(日
曜日運休)◆西武新宿線・
池袋線所沢駅から(武蔵野
線東所沢駅経由)志木駅南
口行きバス25分、「西側」
下車徒歩3分。◆通常は毎
週木曜日 10:00～15:00
公開◆現地お問合せ 電
話:0429-44-2009

通常は毎週木曜日、外観のみ無料
で公開していますが、期間中は木
曜日にも公開し、特別に建物の内部
も見学することができますので、ぜひ
この機会に足をお運びください。

「柳瀬荘」は、実業家、また茶人と
しても名高い松永安左エ衛門氏
の旧別荘で、昭和二十三年(一九
四八)に当館にご寄贈いただきま
した。五千坪を超える敷地には、武蔵野
の面影を今にとどめる雑木林のなか、
江戸時代の民家「黄林閣」(重要文化
財)、書院造りの「斜月亭」、茶室の
「久木庵」があります。

当館と日本大学芸術学部との共催に
よる、秋の恒例事業です。絵画や版画、
彫刻の作品展やワークショップをお楽
しみてください。

埼玉県所沢市の「柳瀬荘」において、
地域に眠る文化・芸術・自然・建造物
から生まれるアートの開拓と地域との
対話をテーマに、美術鑑賞と教育普及
のプログラムを実施します。

10月18日(木)～11月11日(日)
*木・日のみ公開

柳瀬荘 アート・教育 プロジェクト

日本大学芸術学部美術学科 絵画・版画・彫刻教職員と卒業生による作品展

テーマ「アートと対話」

10月18日(木)～11月11日(日)〈木・日のみ開催〉10:00～16:30

出品者:大槻孝之、笹井祐子、富井大裕、鷹尾俊一、松本 隆、櫻井孝美、田中康二郎、横尾哲生、古谷博子、
濱田富貴、長谷川佐知子、内山翔二郎、宮澤真徳、梅津秀行、正親優哉、絹谷幸太、弓良麻由子

ワークショップ「竹でおもちゃを作ろう」

工作キットの組み立てでは味わえない「ものと空間づくり」を体験し、チームワーク、協調の重要性を学びます。

10月21日(日)10:00～16:00 指導:桑原淳司教授(デザイン学科) 対象:小学生から一般まで(小学生3
年生以下は保護者同伴のことで) 定員:20名 締切:10月14日(日)

講演「重要文化財 柳瀬荘「黄林閣」をひも解く」

10月28日(日)13:00～14:30

講師:深谷光美講師(デザイン学科)、建築家 対象:中学生以上 定員:40名 締切:10月25日(木)

アーティストトーク

11月10日(土)14:00～16:00

*入場料・参加費無料 *アーティストトークは参加自由。それ以外のワークショップおよび講演は事前申
込制です。【講座名、住所、氏名、学年(年齢)、電話番号、必要に応じて保護者名】を記入してファックスで
お申込みください。 FAX: 0429-93-2210「日本大学芸術学部所沢校舎庶務課・柳瀬荘アート・教育プロ
ジェクト」宛 *お問合せ:日本大学芸術学部所沢校舎庶務課 電話:0429-93-2211



注目の特集

あなたのお気に入り1位は？

東京国立博物館140周年特集陳列

「館蔵仏像名品選」

9月25日(火)～12月2日(日)

● 本館11室



②

当館は日本の江戸時代以前の仏像をおよそ三百件所蔵しており、そのうち六十七件(法隆寺献納宝物が五十二件)が重要文化財です。これは日本(もちろん世界でも)の博物館でもっとも充実したコレクションです。今回はこのうち特に優れた作品を十三件選んで展示します(法隆寺宝物館の展示作品は含みません)。

皆さんはどの像がお好きでしょうか？ この展示では、像に関するさまざまな知識を得ようとするのは後にして、まず、一番好きな像を探してみてください。その像のどこに惹かれたのでしょうか？ そして次はそれぞれの像の真価を見つけてみてください。姿勢やからだの肉付き、身につける衣や甲冑の表現、対面して感じる神々しさ、迫力、そして表面の装飾などさまざまな点に目を配る必要があります。ゆつくりと時間をかけてお楽しみください。

当館ウェブサイト「投票」のコーナーでは人気投票も実施します(9/25～12/2)。はたして、人気ナンバー1は、どの仏像に？

(浅見龍介)



①◎愛染明王坐像の厨子壁画

鎌倉時代・13～14世紀

厨子奥壁に描かれた胎摩天曼荼羅にはじめて低い位置から照明をあてて全貌をご覧ください

②◎十二神将立像 巳神

伝浄瑠璃寺伝来 鎌倉時代・13世紀

私の気に入り1位は昨年のニュース8-9月号で表紙を飾った戌神。そしてこれが2位です

寄贈作品の全て、初めての一挙公開

東京国立博物館140周年・高円宮殿下十年式年祭記念特集陳列

「根付 高円宮コレクション」

10月30日(火)～12月9日(日)

● 本館 特別2室

高円宮コレクションは、殿下が妃殿下とともに収集された、現代根付を中心とするコレクションです。東京国立博物館では



一人旅
高木喜峰作 2001年
かわいいペンギンが、寝袋を背負って

物館では

このコレク
ションからご

メロン

針谷綱代作
1996年

マスクメロンの網目が、蒔絵でリアルに

寄贈を受け、昨年十一月より高円宮コレクション室を開設し、作品を公開しています。また、殿下の収集は世界的に有名で、すでに大英博物館やベルリン東アジア美術館などでも、高円宮コレクションの展覧会が開かれています。当館ではこのたび殿下の十年

江戸・明治時代のコレクションの全貌を公開

「根付 郷コレクション」

10月30日(火)～12月9日(日)

● 本館14室

郷誠之助(一八六五～一九四二)

氏は、第一次世界大戦後から第二次大戦前にかけて、日本の経済界を牽引した大実業家です。経営危機に陥った幾多もの会社の再建に次々と成功し、貴族院議員や東京



馬上関羽木彫彩色根付

江戸時代・18世紀
実際によく使われたためか、彩色が摩滅しています

レクシオン

には江戸時代から明治期にかけての有名根付師の作品が満遍なく含まれており、今回の展示では久々にその全てを一挙に公開いたします。さまざまな主題や作風の違いなど、比較しながらご覧ください。



白兎牙彫根付

線刻銘「蘭亭」
江戸時代・18世紀
月に住む兎が、餅つきし終わったところでしょうか

常盤牙彫根付

線刻銘「光広」
江戸時代・19世紀
源義朝との間に三人の男子をもうけた常盤御前

の体系的な内容と質の高さから、根付愛好者の間で「郷コレクション」と呼ばれ、高く評価されています。郷コ

(竹内奈美子)

式年祭を記念して、ご寄贈いただく作品全てを一堂に並べる展示を企画しました。殿下の収集は主だった作家やさまざまな素材を網羅しており、現代根付の全貌を見渡すことができる、またとない機会です。一つ一つの作品に込められた現代作家ならではの創意工夫も、見逃せません。



チエーシャー猫、(緒締)笑い

スーザン・レイト作 1997年、
(緒締)1998年
『不思議の国のアリス』に登場する、不思議なネコ

気になるこの部屋・この作品

本館 3 室 禅と水墨画

水墨による仏画の名品

重文 如意輪観音図

10月10日(水)～11月18日(日)

樹木と岩坐、斜面を流れ落ちる小瀑を背景とする幽暗な空間の中で、如意輪観音が片膝を立てて坐っています。観音の背後には円光が表され、ほのかな光が画面を被い包みます。衣や宝冠などには金泥を用いて繊細な文様が表され、落款も金泥で書かれています。京都の東福寺を拠点に活動していた良全が水墨の技法で描いた仏画の代表作です。戦前の財界・政界で活躍した山本達雄氏の旧蔵品。寄贈者の山本達郎氏は著名な東洋史学者。(救仁郷秀明)



◎如意輪観音図

良全筆 南北朝時代・14世紀 山本達郎氏寄贈
水墨の技法が仏画に光と奥行きをもたらしています

本館 2 室 国宝室

聖なる山の紅葉の宴

国宝 観楓図屏風

10月30日(火)～11月25日(日)

京の北西に位置する高雄は紅葉の名所として知られています。「高雄観楓図」とも呼ばれるこの屏風は、清滝川の辺で宴に興じる人々を生き生きと描いた風俗画の傑作です。加えて近年、高雄の神護寺、愛宕山の愛宕社などの霊地を背景に、僧侶や俗人男女、さらに松や亀といった吉祥物を巧みに配した、非常に計算された構図を持つ作品であることが明らかになってきました。聖なる地で繰り広げられる華やかな宴の様子は是非ご堪能ください。(金井裕子)



◎観楓図屏風 狩野秀頼筆 室町～安土桃山時代・16世紀
ただ楽しい宴を描いただけではない、謎を秘めた屏風

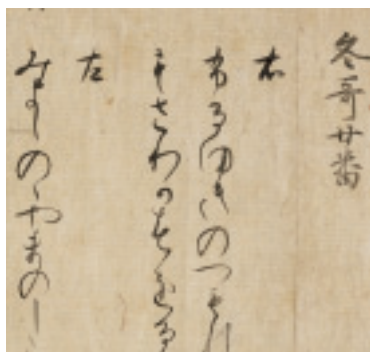
本館 3 室 宮廷の美術

平安のみやびに思いを馳せる

国宝 寛平御時后宮歌合 (十卷本歌合)

10月10日(水)～11月18日(日)

寛平御時后宮歌合とは宇多天皇の母の皇太夫人、班子女王の宮で催した歌合のことです。この作品は、その歌合を記録した現存最古の書写本です。この巻は、藤原頼通(九九二～一〇七四)が編纂を企画した「十卷本歌合」の一部です。近衛家に伝来したため総目録が陽明文庫に所蔵されており、本巻は巻第四の前半部分にあたる部分がわかっています。実は「十卷本歌合」は清書される前に中止されたので、これは下書きですが、流麗な連綿を駆使した仮名は格調が高く、筆跡・内容ともに貴重な作品です。(恵美千鶴子)



◎寛平御時后宮歌合

伝弘尊親王筆 平安時代・11世紀
冬の和歌の歌合の部分です

本館 14 室 館蔵能面名品選

個性あふれる能面との出会い

重文 能面 大天神

9月19日(水)～10月28日(日)



◎能面 大天神
奈良・金春座伝来 室町時代・15世紀
ちょっと影りすぎてうすっすら孔があいているところがあるくらいに深く彫っています

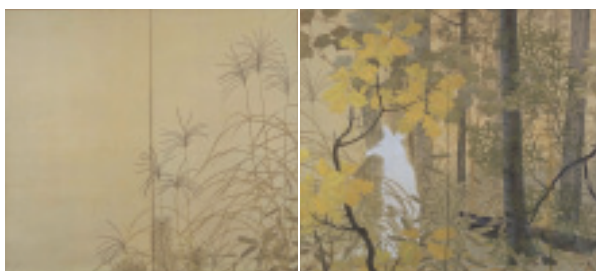
当館は現在三百五十九件の日本の仮面を所蔵しており、二百十六件が能面です。そのうち大和猿楽四座の金春座伝来の面が四十七面、米沢の上杉家伝来の面が三十二面ありますが、そのほかの能面のほとんどは伝来不明です。明治時代に日本の美術作品を海外に輸出するために設立された起立工商会社から購入したものが多く、旧所蔵者が伝わっていないためです。さて、今回は当館所蔵の能面の中から安土桃山時代以前に造られたと見られる優品を展示します。江戸時代以降の面は名品を忠実に写すことが多くなりますが、それ以前は独創的な面が造られました。もし、能面なんてどれも似ている、と思われているとしたらもったいない。能面の面白さを発見できるはず。(浅見龍介)

葛の葉伝説の世界

白狐

10月30日(火)～12月9日(日)

信太(大阪府和泉市)の森の狐は古く知られた伝説です。女性の姿となった白狐葛の葉が阿倍野の国守保名と一時を暮らしましたが、その正体が知られて、森へ帰っていきます。穂先をくわえた白狐は、森のなかからじつと左をみつめています。白く浮かび上がる狐の視線の先には、背景に余白が多く残されて、ススキが佇むように描かれているだけです。深い森と森を抜けた世界の対比によって、自然と人の織り成すドラマが余すところなく描かれています。(松嶋雅人)



白狐 下村観山筆 大正3年(1914)
森へ消え行く白狐の視線の先には余白が静かに広がっています

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講座・講演会・解説

講演会

東京国立博物館 140 周年月例講演会

東京国立博物館の彫刻展示

当館で、彫刻ほど時代とともに変わった展示はないでしょう。
なぜ、どんな風にな変わったのかをお話します。

日時：10月13日(土)13:30～15:00

講師：浅見龍介(東洋室長)

(関連する特集陳列「館蔵仏像名品選」の詳細は10ページ参照)

彫刻展示の歴史を
振り返るお話、
どんなのかしら？



東京国立博物館 140 周年月例講演会

東京国立博物館と帝室技芸員

帝室技芸員制度と当館の関わり、作品の魅力などについてお話します。

日時：11月17日(土)13:30～15:00

講師：伊藤嘉章(学芸研究部長)

(関連する特集陳列「大正元年 帝室技芸員からの寄贈品」の詳細は前号3ページ参照)

* 開場は開始の30分前。いずれも会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、
聴講無料(ただし当日の入館料は必要)

列品解説

宋時代の書

日時：10月23日(火)14:00～14:30 平成館企画展示室

講師：富田淳(列品管理課長)

北宋の名品もさることながら、数少ない南宋の真跡は必見！(関連する特集陳列「尚意競艶—宋時代の書—」の詳細は8ページ参照)

仏像の荘厳

日時：10月30日(火)14:00～14:30 本館11室

講師：浅見龍介(東洋室長)

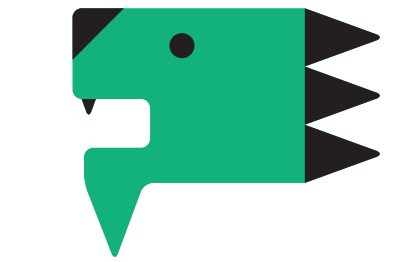
寺院に安置する仏像は人々の祈りを受けるにふさわしい姿につくられ、荘厳されます。その工夫について解説します。(関連する特集陳列「館蔵仏像名品選」の詳細は10ページ参照)

戦時の博物館

日時：11月6日(火)14:00～14:30 本館16室

講師：田島島哲(調査研究課長)

特集陳列「昭和の博物館—戦争と復興—」の解説です。長い戦争が博物館に投げかけた影を明らかにします。



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース

EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

東周から漢時代の金属工芸—象嵌を中心に—

日時：11月13日(火)14:00～14:30 本館20室

講師：川村佳男(保存修復室研究員)

東周から漢時代にかけての中国では金銀やトルコ石を象嵌するなど華麗な金属器が流行しました。列品を紹介しながら、その工芸技術の秘密に迫ります。

国宝 観楓図屏風を読み解く

日時：11月16日(金)18:30～19:00

本館2室 国宝室

講師：金井裕子(絵画・彫刻室研究員)

紅葉の高雄を背景に繰り広げられる華やかで楽しげな宴の様子。でも実は…?! 近年の研究動向をご紹介しつつ作品に秘められた謎を読み解いていきます。(展示に関する詳細は11ページ参照)



●観楓図屏風
狩野秀頼筆 室町～安土桃山時代・16世紀

グラスゴーから来た西洋画

日時：11月20日(火)14:00～14:30 本館特別1室

講師：遠藤菜子(国際交流室研究員)

特集陳列「グラスゴーから来た西洋画—博物館草創期の国際交流1」の解説です。東博の草創期にグラスゴー博物館との交換事業によって寄贈された、今では展示機会の少ない油彩画と石版画をみながら、交換事業について紹介します。

国宝 普賢菩薩像(鳥取・豊乗寺) 鑑賞の手引き

日時：11月27日(火)14:00～14:30 本館20室

講師：沖松健次郎(特別展室主任研究員)

2点しかない国宝の普賢菩薩の画像。そのうちの一つである鳥取・豊乗寺所蔵の画像について、鑑賞のポイントを解説します。

ART
2

五感を使った美術体験

ワークショップ

事前申込制 [ウェブサイトフォーム、電子メール]

ファミリーワークショップ

「考古学者に挑戦!」

「考古学」と聞いて、皆さんはどんなことを思うかえますか?土の下に埋まったもの、土器、はにわ、縄文時代、発掘、石器……など、さまざまな言葉が浮かんでくると思います。

私たちの足もとに埋まっていて、発掘された「考古遺物」は、私たちにたくさんのことを教えてくれます。考古学者は、「考古遺物」から、どのようにむかしの人びとの暮らしについて調べ、想像し、理解するのでしょうか。土器のようがどのようにしてつけられたのかを例に、考古学者だけが知っているコツと秘密を、そっと教えてもらいましょう!

ぼくを見つけて
くれた考古学者さん、
ありがたー!



火焰土器
縄文時代(中期)・前3000～前2000年
伝新潟県長岡市馬高出土

日時：①11月3日(土・祝)
②11月4日(日)
13:00～16:00
(2回とも同じ内容です)

会場：平成館 小講堂

対象：小学生とそのご家族

定員：各回10組

(応募者多数の場合抽選)

参加費：無料(ただし、当日の入館料が必要です。高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は入館無料)

申込方法：電子メール、当館ウェブサイトの申込フォームのどちらかで、

(1) 参加者全員の氏名(ふりがな)・学年

(2) 代表者の郵便番号・住所、

(3) 代表者の電話番号・FAX番号

を記入の上、お送りください。

申込先：東京国立博物館 教育普及室「考古学者」係

電子メール：edu@tnm.jp(件名に「11月3日(あるいは4日) 考古学者」とご記入ください)

締切：①・②ともに10月25日(木) 必着



◎土偶
縄文時代(晩期)前1000～前400年
青森県つがる市木造亀ヶ岡出土

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

こどもたちのアートスタジオ

「ファミリーで勾玉作り」

平成館考古展示室にある古代の勾玉を見学した後に、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。

日時：11月11日(日) 13:30～15:30(120分)

会場：平成館 小講堂

対象：小学校3年生から高校生とそのご家族

定員：5組程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし当日の入館料が必要。高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は入館無料)

申込方法：往復はがき、または当ウェブサイトの申込フォームで(1)参加者全員の氏名(ふりがな)とお子さんの学年、(2)郵便番号・住所、(3)電話番号(FAX番号)を記入の上、お送りください。

*1回の申込で最大5名様まで。

申込締切：10月9日(火)必着

宛先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室「11月11日ファミリーで勾玉作り」係

「勾玉作り体験」

ボランティアデーにちなみ、人気の定番プログラムを体験いただけます。生涯学習ボランティアにご興味をお持ちの方には特におすすめです。

日時：12月1日(土)①11:00～12:00 ②13:30～14:30

12月2日(日)③11:00～12:00 ④13:30～14:30

会場：平成館 小講堂

対象：18歳以上の方

定員：15名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし当日の入館料は必要)

申込方法：往復はがき、または当ウェブサイトの申込フォームで(1)参加者全員の氏名(ふりがな)、(2)参加者全員の性別と年齢、(3)参加者全員の郵便番号・住所、(4)電話番号(FAX番号)、(5)①～④のご希望の日時を1つご記入の上、下記申込先へお送りください。

*1回の申込で最大2名様まで。ご希望日時は1つのみご記入ください。

申込締切：2012年11月5日(月)必着

宛先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室「ボランティアデー勾玉作り」係



展示室で勾玉などを見学します

イベントたくさん、
楽しみだほー



制作工程模型展示

国宝「紅白芙蓉図」ができるまで—東洋絵画の絵具の秘密—

中国・南宋の宮廷画家、李迪によって描かれた国宝「紅白芙蓉図」の制作工程模型を展示しています。忠実に再現した制作手順の模型を通じ、東洋絵画の色彩の表現方法をご紹介します。鉱物・植物・動物・昆虫など、自然界にあるさまざまな材料の特色が巧みに活かされた描き方の一例をご覧ください。

東京芸術大学学生ボランティアによるギャラリートーク

「国宝 紅白芙蓉図ができるまで—東洋絵画の絵具の秘密—」

国宝「紅白芙蓉図」が完成するまでのプロセスを、模型でわかりやすく解説。工程模型制作を通じて知り得た作品の魅力についてもお話しします。

日時：10月13日(土)、11月18日(日)
15:30～15:50

解説：石井恭子

(東京芸術大学学生ボランティア)

場所：本館20室

集合場所：本館1階エントランス



ギャラリートークの様子

東博ボランティアデー 2012

「ボランティアからありがとう」

国際ボランティアデーにちなんで、12月1日(土)、2日(日)に「東博ボランティアデー」を開催します。

館内各所でのご案内や体験コーナーの運営、お客様に配布しているパンフレット「日本美術の流れ」の印刷、各種ガイドツアーなどを担っているのが、当館の生涯学習ボランティア。その活動の支えとなっているのが、お客様からの「ありがとう」、「楽しかった」、「来てよかった」という言葉です。

今回は「ボランティアからありがとう」をテーマに、さまざまなイベントをおこないます。通常の活動はもちろん、両日だけの特別なガイドツアーやワークショップも計画中です。あわせて、平成25年度生涯学習ボランティア募集の説明会も行います。東博ボランティアによるおもてなしをお楽しみください。

詳細は当館ウェブサイトでご案内します。

ボランティアさんは、私たちと一緒にトーハクの魅力を伝えてくれているのよ



昨年度のボランティアデーの様子



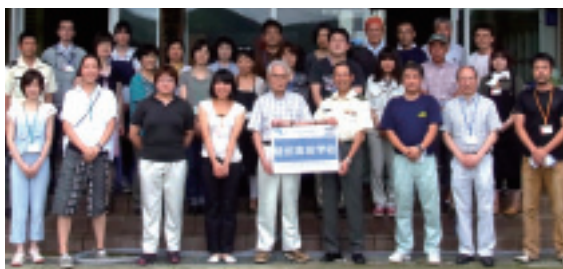
*事前申込制のプログラムにお申し込んだ方には、当落に関わらずご連絡いたします。実施日の3日前までに、受講可否の連絡がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので各申込先にお電話でお問合せください。電話 03-3822-1111(代表)

*各種催し物のご応募の際ご提供いただいた個人情報、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

1000年後の未来に バトンタッチ!

陸前高田市立博物館(旧生田小学校)に集合した陸前高田市の参加者たち

陸前高田市立博物館と盛岡市の岩手県立博物館を会場に、十三名の参加者を得て開催しました。セミナーの名前は「陸前高田学校」です。毎日黙々と被災資料の処理にあたる現地スタッフの方々の役に少しでも立ちたい、現地スタッフが専門家と直接触れ合う機会を作りたい、現地に蓄積された様々なノウハウと経験を今後のために教育的に広めたい、いろいろな考えを一つにまとめたセミナーが陸前高田学校です。陸前高田市立博物館は廃校になった小学校を仮住まいとしているためクレーンがありません。参加者全員、汗をかきかきの研修でした。陸前高田学校は陸前高田教育委員会、陸前高田市立博物館、岩手県立博物館が共催、文化財保護・芸術研究助成財団から助成を得て開催しました。(保存修復課長 神庭信幸)



東京国立博物館はNPO法人文化財保存支援機構と共催して、毎年夏から秋にかけて保存修復実践セミナー・レベルIIとIIIを開催しています。七月三十日から八月六日まで、レベルIIを岩手県陸前高田市の

保存と修理情報 13
「陸前高田学校」を開催しました



イベント開催のお知らせ

東京国立博物館 冬のコンサート

～イタリアの3大アヴェ・マリアと篠笛によるクリスマスコンサート～

日時：12月16日(日) 開場13:00 開演13:30

会場：平成館ラウンジ

出演：保多由子(メゾソプラノ)、寺嶋陸也(ピアノ)、藤倉推峰(篠笛)

曲目：◇篠笛：箏曲「六段の調」より初段、『獅子』(能楽「石橋」より)、『千鳥』(新作初演)

◇メゾソプラノ：アヴェ・マリア(カッチーニ)、アヴェ・マリア(ケルビーニ)、アヴェ・マリア(マスカーニ)、さようなら(詩：秋山邦晴)(武満徹)、かわいい口もと(トスティ) その他

料金：5,000円 友の会割引 4,000円 全席自由

*当日は、コンサートチケットで、総合文化展をご観覧いただけます。

主催：東京国立博物館 サロン・ド・ソネット

チケットのお求め方法

○当館正門観覧券売場でチケット販売

受付時間：開館日の9:30～閉館の30分前まで

(月曜休館 ただし10/8は開館、10/9休館)

○電話予約販売

申込先：東京国立博物館 総務課イベント担当 電話：03-3821-9270

受付時間：月曜日～金曜日 9:30～17:00(土日・祝日は除く)

引換方法：公演当日、9:30～当館正門観覧券売場にて現金引換えにてお渡しします。

*各イベントの詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。

*お車のご来館はご遠慮ください。

第9回「台東区の伝統工芸職人展」のお知らせ

東京国立博物館のある台東区は、江戸文化が栄えた町として知られています。その文化を受け継ぐ様々な分野の職人が、今年も平成館で製作実演を行います。

日時：2012年11月13日(火)～18日(日) 9:30～17:00

会場：東京国立博物館 平成館1階ラウンジ

料金：無料(ただし入館料は必要)

主催：台東区 共催：東京国立博物館

協力：台東区伝統工芸振興会 台東伝統文化振興会

お問合せ：台東区役所 文化産業観光部産業振興課 電話 03-5246-1131

東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。
賛助会員には、特別会員と維持会員の2種類があります。
*賛助会員のお申込は随時受け付けております。

◎年会費

特別会員 100万円以上

維持会員 法人 20万円 / 個人 5万円

◎主な特典

●特別展の内覧会にご招待

●東京国立博物館ニュースの送付

◎お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当

電話 03-3822-1111(代)

特別会員

日本電設工業株式会社様
株式会社 コア様
大日本印刷株式会社様
毎日新聞社様
株式会社 大林組様
朝日新聞社様
株式会社 ミロク情報サービス様
読売新聞社様
三菱商事株式会社様

維持会員団体

TBS様
株式会社 精養軒様
株式会社 三冷社様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ様
株式会社 東京美術様
株式会社 鶴屋吉信様
日本通運株式会社様
株式会社 安井建築設計事務所様
株式会社 ナガホリ様
松本建設株式会社様
株式会社 古美術数々様
謙慎書道会様
近代書道研究所様
日本畜産興業株式会社様
株式会社 東京書芸館様
インフォコム株式会社様
学校法人 大勝院学園様
有限会社 システム設計様
株式会社 インターネットインシアティブ様

凸版印刷株式会社様
フルガリ ジャパン株式会社様
財団法人 東芝国際交流財団様
日本写真印刷株式会社様
日本ロレックス株式会社様
サロン・ド・ソネット様
シティバンク銀行株式会社様
株式会社 ミュージアムスタイルカフェ様
株式会社 東芝様

株式会社 小西美術工芸社様
公和図書館株式会社様
有限会社 ギャラリー竹柳堂様
株式会社 育伸社様
株式会社 モリサワ様
アミ開発有限会社様
光村図書出版株式会社様
株式会社 アクト・ヒューマンリード様
キョーリン製薬ホールディングス株式会社様
株式会社 資生堂様
株式会社 グラスパワハル・ジャパン様
株式会社 デュナミス様
キョーマン株式会社様
株式会社 ミュースエンターテインメント様
公益社団法人 創文書道会様
株式会社 アルカ様
朝陽書道会様
社団法人 書芸文化院様
株式会社 都市環境企画様

維持会員個人

木村 則子様
高木 聖鶴様
早乙女 節子様
伊藤 信彦様
井上 萬里子様
数内 匡人様
服部 禮次郎様
岩沢 重美様
高田 朝子様
齋藤 京子様
齋藤 邦裕様
和田 喜美子様
佐々木 芳絵様
藤原 紀男様
中川 俊光様
関谷 徳衛様
高橋 守様
小澤 桂一様
上久保 了子様
堀田 良豊様
長谷川 英樹様
池田 孝一様
木村 剛様
観世 あすか様
星 望由様
久保 順子様
渡辺 章様
福垣 聖哲様

帖佐 誠様
飯岡 雄一様
峯村 協成様
牧 美也子様
高瀬 正樹様
坂井 俊彦様
寺浦 信之様
高木 美華子様
古屋 光夫様
根田 穂美子様
松本 澄子様
常 博様
上野 孝一様
北山 喜立様
山田 泰子様
柴田 陸子様
網村 安代様
岡田 博子様
臼井 生三様
津久井 秀郎様
川澄 祐勝様
神通 豊様
永久 幸範様
五十嵐 良和様
石川 公子様
池田 真様
青山 千代様
永田 実香様

西岡 康宏様
友里 紀子様
東野 治之様
辻 泰二様
竹下 佳宏様
野澤 智子様
野崎 弘様
坂田 浩一様
池谷 正夫様
脇 泰一郎様
木谷 賢一郎様
高梨 兵左衛門様
渡久地 ツル子様
汐崎 浩正様
堤 勝代様
平井 千恵子様
高谷 光宏様
青山 道夫様
井出 雪絵様
田中 千秋様
小西 峰也様
澁谷 洋志様
清川 勉様
ozawayuko様
仙石 哲朗様
中井 伸行様
田中 望様
三井 達雄様

坂詰 貴司様
吉田 靖様
松本 雅彦様
篠田 喜弘様
片山 正紀様
伊藤 喜雄様
井上 雄吉様
大森 雅子様
折越 卓哉様
細川 要子様
錦織 伸一様
鈴木 幸一様
秋元 文子様
土師 昭三様
上塚 建次様
鏡 賢志様
山田 輝明様
高久 真佐子様
井出 雪絵様
佐藤 祐一様
岡本 博司様
岡本 恭子様
田中 榮二様
谷川 紀彦様
山口 隆司様
原 一之様
会田 健一様
桐畑 政義様

相良 多恵子様
熊谷 勝昌様
鈴木 徹様
今里 美幸様
櫻井 恵様
伊佐 健二様
福井 一夫様
軽部 由香様
阿部 明美様
酒井 弘文様
木越 純様
井上 保様
田中 信様
岡 靖子様
古川 晴紀様
菊地 昌之様
若本 光雄様
山本 隆幸様
鈴木 春樹様
山上 知子様
名取 幸二様
増淵 信義様
要 英範様
樽本 英信様
本條 陽子様
西原 賢一様
加藤 康幸様
安田 裕様

原田 清朗様
筑紫 みずえ様
鳥山 玲様
山形 哲也様
尾崎 昌郎様
山本 雅司様
倉片 康雄様
栗山 哲夫様
安達 務様
山根 宗芳様
梅本 聖様
榎本 享世様
田頭 一舟様
岡田 良雄様
阿部 和加子様
井茂 圭河様
高味 良信様
廣田 雅様
熊谷 誠治様
杉山 恭規様
山田 浩一様
秋元 あかね様
笹森 美子様
高橋 明子様
村井 明美様
久保田 哲暁様
小塚 泰博様
星 八郎様

星 弘道様
熊谷 潤子様
佐野 豊雄様
田中 節山様
高木 聖雨様
久保 和樹様
山中 翠谷様
荒木 章様
福岡 稔様
関口 大志様
山口 文子様
山口 登様
柳村 衛様
樺澤 剛志様
小日向 志乃様
佐藤 貴士様
横田 隆義様
新保 幸男様
山田 伊知郎様
田中 章様



2013年東博カレンダーと「秋の特別公開」ポスタープレゼント

東京国立博物館のオリジナルカレンダーとトーハク君とユリノキちゃん出演の「秋の特別公開」のポスターをセットにして、抽選で10名様にプレゼントします。締切は11月22日(木)必着。

◎プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、ならびにこの号で一番面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース10・11月号」プレゼント係

TNM & TOPPANミュージアムシアター

◎VR作品「DOGU 縄文人が込めたメッセージ」
10月5日(金)～10月28日(日)の金・土・日・祝日



VR作品「DOGU 縄文人が込めたメッセージ」より
【監修】東京国立博物館
【制作】凸版印刷株式会社

多くの来場者の方からのリクエストにお答えて「DOGU 縄文人が込めたメッセージ」をアンコール上演。当館所蔵の土偶3体(通称「ヤマネコ土偶」「みみずく土偶」「遮光器土偶」)を中心に縄文時代と土偶への理解を深めながら、造形に込められた縄文人のメッセージを読み解きます。土偶の微細な造形、背面や真下からといったVR(バーチャリアリティ)ならではの視点や、土偶とナビゲータの掛け合いによって展開する楽しい演出も見どころです。

●10:00、11:00、12:00、14:00、15:00、16:00上演 各回30名

*当日予約制 上演開始10分前までに本館1階エントランスにて受付

〈TNM & TOPPAN ミュージアムシアター リニューアルのお知らせ〉

TNM & TOPPAN ミュージアムシアターは、2013年1月より資料館から東洋館に場所を移して、装いも新たにリニューアルオープンを予定しています。そのため上演を11月～12月の間、お休みさせていただきます。

名画立体化プロジェクト 尾形光琳「風神雷神図屏風」発売

東京国立博物館は140周年記念フィギュアプロジェクトの第2弾として、名画の立体化に挑戦。尾形光琳による「風神雷神図屏風」(重要文化財)の「風神」と「雷神」がフィギュアになりました。



東京国立博物館公式フィギュア
名画立体化プロジェクト「風神」「雷神」

フィギュアサイズ(全高・台座含む):風神 約120mm/雷神 約120mm

価格:各3,990円(税込) 東京国立博物館内限定販売 発売日:9月15日

教えて!なぜなにトーハク 休載のお知らせ

今月号の「教えて!なぜなにトーハク」は、誌面の都合により休載いたしました。楽しみにしていただけました方には誠に申し訳ございません。ご了承ください。

ぼくたちのページを
けするなんてひどいほし
んがいたほ!



大人の事情だから
仕方ないわよ
トーハクくん、
次号でがんばりま
しょうね。



『MUSEUM』639号(2012年8月15日発行)の掲載論文



- ①「安芸、厳島における新発見の祭祀遺跡—弥山の中腹で発見された岩塊群の検討—」
妹尾周三(東広島市教育委員会)
- ②「『資料紹介』田中親美「平家納経模本」—益田鈍翁、高橋箒庵、松永耳庵の眼—」
恵美千鶴子(当館書跡・歴史室)
- ③「『報告』東京国立博物館所蔵「紺紙金字法華経」の卷子紐の復元」
西岡千鶴(西岡甲房)

国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

特別展「^{しんかん}宸翰 天皇の書—^{みて}御手が織りなす至高の美—」
10月13日(土)～11月25日(日)

〈奈良国立博物館〉

特別展「第64回 正倉院展」
10月27日(土)～11月12日(月)

〈九州国立博物館〉

特別展「フェルメール「真珠の首飾りの少女」
in ベルリン王立美術館展 学べるヨーロッパ美術の400年」
10月9日(火)～12月2日(日)

ボランティア募集のお知らせ

平成25年度 生涯学習ボランティア募集

当館では、来館者の方がより東京国立博物館に親しみをもち、心に残る体験をしていただくために、ボランティアによるさまざまな活動を行っています。館内施設のご案内に体験コーナーの運営、パンフレット等の印刷、バリアフリー対応や、ワークショップ・講演会・イベントなどの運営補助、さらに、自主企画グループによるガイドツアーなども行っています。あなたも、博物館に来館される方々をお手伝いする活動をしてみませんか。募集要項は、11月以降に館内または当館ウェブサイトにて配布予定です。また12月1・2日の「東博ボランティアデー」では、応募を検討されている方への説明会を行います。お気軽にご参加ください。詳細は、当館ウェブサイト(<http://www.tnm.jp/>)をご覧ください。

*お問合せ:当館ボランティア室 電話 03-3822-1111(代表)

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会

年会費 1万円

発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に際しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート

一般4,000円 学生2,500円

発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

*建物の改修等のため、京都国立博物館の平常展示館、東京国立博物館東洋館・表慶館・黒田記念館など一部展示館を閉館しています。

◎お申し込みは当館窓口、郵便振替または当館ウェブサイト

【郵便振替でのお申込】

- 振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書で記入ください
- 振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください
- 振替手数料はお客様の負担となります
- ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号 00160-6-406616

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート
口座番号 00140-1-668060
●振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

◎お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当
FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◎お申込は郵便振替で

- 加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース
口座番号 00100-2-388101
- 振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書で記入ください
- 振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください
- 振替手数料はお客様のご負担となります
- 次号より送付ご希望の場合、締切は2012年11月10日まで

東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブサイト更新などの情報をいち早くお届けします

●ご登録は<http://www.tnm.jp/>から

東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30～17:00

2012年3月～12月の特別展開催期間中の毎

週金曜日は20:00まで開館

2012年9月21日(金)は22:00まで特別夜間開館

2012年10月20日(土)は21:00まで開館

2012年3月20日～9月の土日祝休日は18:00

まで開館(入館は閉館の30分前まで)

休館日 原則として月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始(2012年12月25日～2013年1月1日)。

総合文化展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

●()内は20名以上の団体料金

●障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください

●満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の総合文化展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

*各種イベント等のお申込に際してご提供いただいた個人情報、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

1月	休館日
2火	建 13:00
3水	
4木	本 14:00
5金	法 15:00
6土	留学生の日 建 11:00 樹 13:30 本 14:00 法 15:00
7日	考 14:30
8月・祝	トーハクくん誕生日 
9火	休館日 ユリノキちゃん誕生日 
10水	樹 13:30 特別展「出雲—聖地の至宝—」 特別展「中国—王朝の至宝—」
11木	本 14:00 庭 14:00
12金	夜間開館 (20:00まで) 記念講演会「中国喫茶文化における北と南」 13:30 平成館大講堂*1 英 14:00 考 14:30
13土	月「東京国立博物館の彫刻展示」13:30 平成館大講堂*2 芸大トーク「国宝 紅白芙蓉図ができるまで」15:30 本館20室*3 陶 14:30
14日	記念シンポジウム「神々の国 出雲—日本神話の実像に迫る—」 13:30 よみうりホール*4 浮 14:00
15月	休館日
16火	建 13:00
17水	浮 14:00
18木	本 14:00 彫 15:00
19金	夜間開館 (20:00まで) 法 15:00
20土	特別夜間開館 (21:00まで) 記念講演会「中国文明の謎」13:30 平成館大講堂*1 建 11:00 本 12:00、14:00 樹 13:30 法 15:00
21日	英 12:00 茶 12:30、14:00 浮 14:00 考 14:30
22月	休館日
23火	列品解説「宋時代の書」14:00 平成館企画展示室*2
24水	樹 13:30
25木	本 14:00
26金	夜間開館 (20:00まで) 考 14:30
27土	記念講演会「出雲の弥生青銅器」 13:30 平成館大講堂*4 陶 14:30 秋の庭園開放
28日	彫 11:00 庭 14:00 浮 14:00
29月	休館日
30火	列品解説「仏像の荘厳」14:00 本館11室*2
31水	

1木	本 14:00
2金	夜間開館 (20:00まで) 法 15:00
3土・祝	ファミリーワークショップ「考古学者に挑戦!」13:00 平成館小講堂*5 建 11:00 樹 13:30 本 14:00 法 15:00
4日	ファミリーワークショップ「考古学者に挑戦!」13:00 平成館小講堂*5 考 14:30
5月	休館日
6火	列品解説「戦時の博物館」14:00 本館16室*2 建 13:00
7水	
8木	本 14:00 庭 14:00
9金	夜間開館 (20:00まで) 英 14:00 考 14:30
10土	陶 14:30
11日	作 (ファミリーで勾玉作り) 13:30 浮 14:00
12月	休館日
13火	列品解説「東周から漢時代の金属工芸—象嵌を中心にして—」 14:00 本館20室*2 台東区の伝統工芸職人展
14水	樹 13:30 浮 14:00
15木	本 14:00 彫 15:00
16金	夜間開館 (20:00まで) 列品解説「国宝 観楓図屏風を読み解く」 18:30 本館2室 国宝室*2 法 15:00
17土	月「東京国立博物館と帝室技芸員」13:30 平成館大講堂*2 建 (手話通訳付) 11:00 本 12:00、14:00 樹 13:30 法 15:00
18日	芸大トーク「国宝 紅白芙蓉図ができるまで」15:30 本館20室*3 英 12:00 茶 12:30、14:00 浮 14:00 考 14:30
19月	休館日
20火	列品解説「グラスゴーから来た西洋画」14:00 本館特別1室*2 建 13:00
21水	特別講演会「美意識の東西—アクロポリスの丘から上野の山まで—」 16:00 平成館大講堂*6
22木	本 14:00
23金・祝	夜間開館 (20:00まで) 講演会「尚意競艶—宋時代の書—」 13:30 平成館大講堂*7 考 14:30
24土	講演会「上野の山を彩(いろど)る歴史的建造物」14:00 平成館大講堂*7 陶 14:30
25日	彫 11:00 庭 14:00 浮 14:00
26月	休館日
27火	列品解説「国宝 普賢菩薩像(鳥取・豊乗寺) 鑑賞の手引き」 14:00 本館20室*2
28水	樹 13:30
29木	本 14:00
30金	夜間開館 (20:00まで) (12/9まで) (12/24まで)

*1 事前申込制。詳細は前号4ページ *2 詳細は本誌12ページ *3 芸大ギャラリートーク、集合場所:本館1階エントランス。詳細は本誌13ページ *4 事前申込制。詳細は前号5ページ *5 事前申込制。詳細は本誌12ページ *6 事前申込制。詳細は本誌8ページ *7 詳細は本誌8ページ

本＝ボランティアによる本館ハイライトツアー (10/6 はやさしい日本語でご案内します)、集合場所:本館1階エントランス
 浮＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス
 陶＝ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館1階エントランス
 彫＝ボランティアによる彫刻ガイド (10/6 はやさしい日本語でご案内します)、集合場所:本館1階エントランス
 樹＝ボランティアによる樹木ツアー (庭園開放時は、前庭と北側庭園の樹木をご案内します。10/6 はやさしい日本語でご案内します)、集合場所:本館1階エントランス
 考＝ボランティアによる考古展示室ガイド (10/6 はやさしい日本語でご案内します)、集合場所:平成館考古展示室入口
 法＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド (10/6 はやさしい日本語でご案内します)、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス

茶＝ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所:本館1階エントランス (参加費500円、先着30名、開始30分前に集合場所まで整理券配布)
 庭＝ボランティアによる庭園茶室ツアー 集合場所:本館1階エントランス (先着20名、開始30分前に集合場所まで整理券配布)
 英＝ボランティアによる英語ガイド (日本美術の流れ)、集合場所:本館1階エントランス
 作＝ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所:本館1階エントランス
 月＝ミュージアムシアター「DOGU 縄文人が込めたメッセージ」(10/5～10/28)、上映 10:00 11:00 12:00 14:00 15:00 16:00 各回30名、集合場所:本館1階エントランス 詳細は当館ウェブサイトでご確認ください
 屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。